



世界に希望を生み出そう

脇町ロータリークラブ

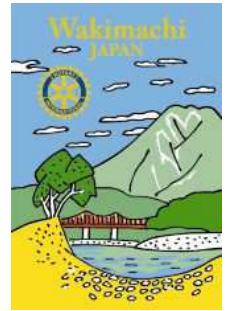
第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2024年5月2日 木曜日

第37回例会 No. 2876

会員総数:39名 出席者28名 出席率:71.80%



●メーキャップ

●会長挨拶

川原会長 皆さんこんにちは。今日も多くの方にお集まりいただきどうもありがとうございます。
今日は仕事で少し気になっているところをお話したいと思います。今回のテーマはいかに元気で年を重ねるか、ということで話を進めます。
皆さんもご存知だと思いますけれども、健康寿命と平均寿命というのがあります。男の人で平均寿命は80.9歳、健康寿命は72.4歳。女の人で健康寿命が74.7歳で平均寿命が87.1歳、と約十年間の差があります。この十年について話を進めていきますが、これは2002年に発表された論文から持ってきました。高齢患者が死に至るパターンというのが、アメリカの保険会社が7000人ぐらいのデータをもとに調査した結果ですが、四つパターンがあるということです。まず突然死。ある日突然、心筋梗塞や脳梗塞で亡くなる。もう一つは、癌が発見されて三か月ぐらい経ってなくなる。もう一つは臓器不全で、心不全や臓器不全を繰り返しながらなくなる。もう一つはフレイルでなくなる。こういう四つのパターンがあるとされています。それぞれの比率は、突然死は7%、癌が22%、臓器不全は16%、フレイル47%です。
今日はフレイルについて話を進めます。フレイルは病気でないけれど、年齢とともに筋力や心身の活力が低下し介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態を言います。健康から寝たきりや、身動きが取れないことで介護が必要な間、まあ動けないわけではないけれど、いろいろ障害が出てきた状態をフレイルと言います。これは75歳ぐらいから一気に加速するとされています。健康生活習慣の見直しでフレイル予防が可能とされていますが、放置すると介護が必要な状況になるというふうにも言われています。フレイルを予防するためには、まず食事でしっかりバランスよくしっかり食べることです。体もウォーキングとかストレッチなどをやって健康に体もしっかり動かしてください。もう一つ社会参加があります。これが我々で言えばロータリーの参加などに繋がっていくと思います。この、栄養、身体活動、社会参加の三つが必要とされています。ただそのために、やはり口の健康で食べるころから考えると、大切だと考えていまして、この口の健康というの、堅いのが最近食べにくくなったとか、汁物の時にむせるようになったとか、口の中が乾くようになったとか、薬を飲みにくくなった、滑舌が悪くなった、食事をするのに時間がかかるようになった、食べこぼしをするようになった、口の中に食べ物が残るようになった、などなど。これはフレイルまではいかないですが、その前段階で、歯科業界の中では、口腔機能低下症という名前が付けられています。この口腔機能低下症は、それほど生活に支障がないので、見落とされがちです。けれどもやはり、足腰の筋肉が弱くなってくると歩けないと同じように、歯もあって、口の周りの筋肉とか、舌の筋肉とかが弱くなってくると食べられないことになっています。やはり口腔機能というのは、やはりあの卓球につながるというふうにも言われています。栄養がなかなか取れないし、活力も生まれないので、新機能の低下につながると言われていきます。
私自身、現在61歳です。50歳ぐらいからやはり体力や筋力が落ちてきて、毎朝、大体20分から30分ぐらいのトレーニングをしています。どんどんトレーニングをするのがしんどくなっています。できるだけ皆さんにおかれましても、健康を維持し、いつまでも元気でほしいと思っています。
今日の会長挨拶は以上です。本日もどうぞよろしく願いいたします。

●幹事報告

佐藤直樹幹事

到着週報 鴨島 阿波池田 美馬 洲本各RC

到着書類 ロータリーの友

連絡事項 例会終了後、理事会と60周年委員会を行います。

●委員会報告

職業奉仕委員会 来週は六車エンジニアリングで 12 時半から通常例会と同じ時間で始めますので、
遠藤会員 直接お越しください。

社会奉仕委員会 先週は小星公園の奉仕活動清掃活動ありがとうございました無事に終了いたしました。
小笠会員

60周年記念事業委員会 かねてから準備してきました看板が、先週できてあの小星公園の清掃作業の後、ミライズ北側
佐藤順二会員 公園で無事お披露目ができました。13 名ほど来ていただきまして本当にありがとうございました。

親睦委員会 結婚記念日：須藤会員、佐藤直樹会員、河合会員
河淵会員 5月誕生日：藤原義浩会員、古川会員、秦会員
奥様誕生日：山本会員

皆様、おめでとうございます。

●プログラム

卓話 ロータリー会員ナンバー6番の小野誠治です。本日は私の稼業でもある半田そうめんについてお話
小野会員 をさせていただこうかなと思っております。

私はこの仕事を始めて 20 年になると思いますが、それ以前は、今の日本製鉄の方でラグビーをしながら、製鉄の仕事をしていました。H 型鋼の検査をしていました。真っ赤な H 型鋼ゲージが流れていくなか、フランジ巾、ウェブ高を許容範囲でいるかどうかを検査する仕事をしていたのですが、退職して今の職に移っております。半田そうめん業界もそうなのですが、どの業界でもいろんな課題があると思います。今、半田そうめんの抱えている問題というのは、この物価高騰で非常に厳しい台所事情になっています。それに賃金の上昇や、それに伴って本当ならば商品の価格もあげたいのですが、上乗せはできないという狭間に立たされているわけです。大手企業は大手さんなりの苦しみはあると思いますが、中堅からは非常に苦しい状況でございます。なぜかと言いますと、大手企業は、我々中堅クラスよりも原材料を安く大量に購入できるため安く手に入るといいますし、資材も同じです。我々はそんなに大量に購入できないため、いくら高くなるのに、販売価格はあまり変わりません。ということは、利幅が大手さんよりは少ないということで、非常に苦しい台所事業です。でも苦しいばかりでもいけないので、いろんな付加価値をつけたりして頑張っているところでございます。それと設備の老朽化が非常にどのメーカーさんも結構問題になっております。さらに労働者の高齢化も非常に顕著で、60 歳を過ぎてリタイアされた方が、体が動けるうちは働きたいということで、我々のそうめん業界に再就職される方もいます。従業員の年齢も上がっているのが現状です。おそらく平均年齢は 60 歳に近いと思います。どのメーカーさんも後継者不足ですが、私が入社した 28 年前は、45 社ぐらいありました。今は組合に加盟している業者が 20 社で、加盟していないところが 3 社、合わせて 23 社です。

これから 10 年を考えると、その 23 社がまた半分ぐらいに減るのではないかと言われております。この 23 社のうち、ご夫婦 2 人でされているようなメーカーさんも何社かありまして、その業者さんは、もう一年一年が勝負と思います。私もそうですが会社に入った時は、息子が帰ってきてなんて言われていたのですが、その私も 50 が近い年齢になっておりますので、今度は私が、お前の子供はどうするのかと、稼業を継ぐかというふうに言われている状況です。そんな私の倅は、おそらく継がないでしょうし、どうなるかなと不安を抱えているところでもあります。ですが、逆に明るい材料もありまして、特に大手さんの頑張りでも全国的に半田そうめんの知名度が上がってきております。実は半田そうめんは、そうめんの規格ではなかった時代がありました。JAS 法で、当時 13mm 未満がそうめんという規格があったのですが、半田そうめんの醍醐味は 1.7mm~2mm ぐらいの太さでしたので、その時は、もう半田そうめんさんはそうめんではなく、冷や麦だと表記してくださいと、農水省に指導を受けました。これを受け入れることは、死活問題なので、当時の町長や、国会議員の方々のご尽力で農水省と交渉していただき、特例で 1.7mm 未満であれば、そうめんであるという落としどころを見つけていただきました。今では、手延べそうめんを従来通り、製造できるようになりました。そういった危機も乗り越えたことで、ますます知名度が上がっていています。

先ほど冒頭申し上げましたが、どの産地もやっぱり後継者不足、労働者不足で非常に寂しい業界ですが、そんな中、半田そうめんは 2018 年に乾麺グランプリという賞をいただいて、そうめん部門、うどん部門、中華麺部門の中のそうめん部門でも優勝して、全体の中でもグランプリいただくことができました。非常に高品質である上に、おいしいという評価もいただきました。昨年、第 3 回全国そうめんサミットが小豆島でありましたけども、そこでも金賞の評価いただいたところでもあります。

卓話 2020年には、半田そうめん専用のめんつゆも盛田醤油さんと共同開発し、半田そうめん組合が監
小野会員 修して、初めてめんつゆの素が発売できました。地元のスーパーでも売られていますので、もしよか
ったら買っていただければと思います。

もう一つ、地域団体商標を皆さんご存知ですか。地域団体商標というのは、地名と商品名を組み合
わせた、商品名称を守るという意味で、地域団体商標があります。2020年に登録されましたが、これ
はどういう意味があるかという、この半田そうめんというこの名称自体がもう半田そうめん組合のもの
になりました。なぜこの商標登録を取ったかという、半田そうめん組合で半田そうめんという名称
を守るためです。そういった意味で地域団体商標を取りましたが、県内にあと8つあります。

渭東ねぎ、なると金時、徳島唐木仏壇、鳴門らっきょ、阿波しじら織、阿波山田錦、大谷焼、上勝阿
波晩茶といったところです。県内の地域のブランドを守っていこうということで、ほかの商品も登録さ
れているようございます。

時間もそろそろきたので、まとめとしましては、我々の世代がこれからも半田そうめん業界を守って
いくためにも、自社のブランドを守りながら、そして組合のブランド入魂の売り上げをもっと伸ばして、
小さい業者は、組合の商品だけ作ってれば会社が存続できるぐらいその組合ブランド入魂の売上
を上げていくことを目標に頑張っております。他の細い麺もおいしいと思いますが、半田そうめんも
食べていただければ嬉しく思います。以上でございます。

次回のわたくしの卓話は来年の1月30日となっております。以上です。ありがとうございました。

●ニコニコボックス

古川会員、藤原義浩会員、佐藤直樹会員、河合会員、山本会員

●例会ダイジェスト

今週の見出し！

そうめん業界の風雲児現る！

1. 例会が始まります。



2. 毎月のお祝い



1. SAAの奈良国立博物館空海展に行ったお話。 2. 第一例会では、お祝いのプレゼントを贈呈。

3. トップセールスマン。



4. おすすめ商品！



3. 半田そうめんと共に、一食入魂です！

4. 組合が開発しためんつゆです。ご賞味あれ。

次回例会

2024年5月9日(木) 12:30~

職場例会 場所:六車エンジニアリング

プログラム

卓話 六車功二 会員

次の会員は例会欠席でした。 上柿会員、北川会員、木下会員、黒川会員、郷司会員、
千葉会員、秦会員、藤川会員、藤原武志会員、吉野会員
メイクアップして下さい。

☆ 次回例会の出欠を黒川出席委員長まで連絡してください。